



平成27年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)



平成27年1月7日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9414 URL http://www.bs11.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 目時 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画局長 (氏名) 内田 克幸 (TEL) 03(3518)1900  
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年8月期第1四半期の業績 (平成26年9月1日～平成26年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第1四半期	2,121	15.4	565	46.3	558	40.4	357	△1.4
26年8月期第1四半期	1,837	—	386	—	397	—	362	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年8月期第1四半期	20.08		—					
26年8月期第1四半期	25.18		—					

(注) 1. 当社は、平成26年8月期第1四半期より四半期財務諸表を作成しているため、平成26年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

2. 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第1四半期	13,356	12,228	91.6
26年8月期	13,208	12,093	91.6

(参考) 自己資本 27年8月期第1四半期 12,228百万円 26年8月期 12,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	0.00	—	12.50	12.50
27年8月期	—	—	—	—	—
27年8月期(予想)	—	0.00	—	13.50	13.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成26年8月期の期末配当金12円50銭には、東京証券取引所市場第二部上場記念配当金2円50銭が含まれております。

3. 平成27年8月期の業績予想 (平成26年9月1日～平成27年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	13.9	980	12.0	960	4.9	670	△12.7	37.63
通期	8,800	11.8	1,840	8.7	1,800	7.4	1,100	△11.3	61.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期1Q	17,802,832株	26年8月期	17,802,832株
② 期末自己株式数	27年8月期1Q	94株	26年8月期	94株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期1Q	17,802,738株	26年8月期1Q	14,397,032株

(注) 当社は、平成25年12月16日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。また、平成26年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策の効果による企業収益の改善は見られるものの、消費税率の引き上げに伴う個人消費の低迷が続いており、景気回復は足踏み感が見られ、先行する物価上昇に伴う実質所得の低下などから、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の70.5%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しており、またBSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で9.6%の伸長、中でもBS放送の広告費は、前年比で13.8%増と好調に推移しております（「2013日本の広告費」(株)電通調べ）。

このような状況下、当社は皆様の「心に響くBS11」をコンセプトとして、ターゲットを絞ったクオリティの高い番組作りに引き続き邁進いたしました。平成26年10月の番組改編では、接触率の向上を目的として、これまで放送していたレギュラー番組のリニューアルを推進し、平成26年4月から6月までの1クールで放送した『すてきな写真旅～一眼レフと旅にしよう～』の続編として、女優のとよた真帆氏を起用し『すてきな写真旅2～一眼レフと旅にしよう～』を、またプロによる解説とともに名門ゴルフコースとその地の魅力をお伝えした『憧憬 大人のゴルフ旅』の続編として、新たに塩谷育代プロを起用し『憧憬 大人のゴルフ旅 Season2』をお届けしております。このほか平成26年10月には『全日本学生柔道体重別選手権大会』、同年11月には『JOCジュニアオリンピックカップ2014 平成26年度全日本卓球選手権大会』を放送、将来の活躍を期待される若手有望選手に密着し、その興奮と感動をお届けするなど、スポーツコンテンツのより一層の充実を図っております。

また、5分ミニ枠番組をはじめとした一社提供番組への取り組み強化や、BS初登場及び話題の作品にこだわったドラマ編成等が、売上増加に寄与いたしました。

費用面につきましては、引き続き番組関連費用等の効率的なコントロールに努めながら、認知度向上のための施策として、全国紙・地方紙への広告出稿を戦略的に実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,121,160千円（前年同期比15.4%増加）となりました。営業利益は565,404千円（前年同期比46.3%増加）、経常利益は558,588千円（前年同期比40.4%増加）、四半期純利益は357,420千円（前年同期比1.4%減少）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ147,854千円増加し、13,356,219千円（前事業年度末比1.1%増加）となりました。主な要因は、現金及び預金が111,132千円増加したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ12,967千円増加し、1,128,190千円（前事業年度末比1.2%増加）となりました。主な要因は、未払法人税等が26,569千円減少したものの、流動負債のその他が45,594千円増加したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ134,886千円増加し、12,228,029千円（前事業年度末比1.1%増加）となりました。この要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年8月期の業績予想につきましては、平成26年10月8日付の「平成26年8月期 決算短信」で公表しました業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,794,736	4,905,868
受取手形及び売掛金	1,368,693	1,457,501
番組勘定	97,144	182,811
その他	297,756	177,940
貸倒引当金	△1,600	△1,700
流動資産合計	6,556,730	6,722,422
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,163,225	2,163,016
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	261,611	241,288
有形固定資産合計	6,459,594	6,439,062
無形固定資産	10,507	9,675
投資その他の資産	181,533	185,060
固定資産合計	6,651,634	6,633,797
資産合計	13,208,365	13,356,219
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	249,901	246,287
未払法人税等	109,000	82,430
その他	684,361	729,955
流動負債合計	1,043,262	1,058,673
固定負債		
退職給付引当金	33,479	35,379
その他	38,480	34,137
固定負債合計	71,959	69,516
負債合計	1,115,222	1,128,190
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,183,198	4,183,198
資本剰余金	3,516,989	3,516,989
利益剰余金	4,393,050	4,527,937
自己株式	△96	△96
株主資本合計	12,093,142	12,228,029
純資産合計	12,093,142	12,228,029
負債純資産合計	13,208,365	13,356,219

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年9月1日 至平成26年11月30日)
売上高	1,837,366	2,121,160
売上原価	958,765	971,014
売上総利益	878,600	1,150,145
販売費及び一般管理費	492,128	584,740
営業利益	386,471	565,404
営業外収益		
受取利息	93	93
受取賃貸料	27,438	—
その他	159	172
営業外収益合計	27,691	265
営業外費用		
支払利息	1,713	472
賃貸収入原価	10,512	—
休止固定資産減価償却費	—	6,609
上場関連費用	4,000	—
営業外費用合計	16,225	7,081
経常利益	397,937	558,588
特別損失		
固定資産除却損	—	19
特別損失合計	—	19
税引前四半期純利益	397,937	558,569
法人税、住民税及び事業税	35,390	74,633
法人税等調整額	—	126,515
法人税等合計	35,390	201,148
四半期純利益	362,546	357,420

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。